

Vol. 2 空き家の入居者 位田達彦さんご家族

入居者プロフィール

氏名(年齢)	位田 達彦さん(35)	出身地	静岡県浜松市
職業	職人	趣味	楽器演奏、森観察
参考にした本	自然農(著:川口由一)		
同居の家族	妻・めぐみさん(32)、子・羽音くん(0)、犬・ピリカ(2)、犬・サン(0)		

位田達彦さんは、たたみ工房「つむぎ」を営む畳職人さんです。妻・めぐみさんは、空き家情報バンク制度を利用して1人で空き家を探し、そのリフォームの時に達彦さんと出会い、結婚しました。そして、2人で空き家で暮らし始めました。現在は息子・羽音くんと3人暮らしています。

入居した空き家は小高いところにあり、景色、日当たりが良く、家の中は入居したお2人の共同作業で素敵な古民家に生まれ変わっていました。

入居のきっかけから、リフォームのことや地域の話を知ることができました。



—めぐみさんは、最初は1人で空き家を探されたんですね。何がきっかけだったのですか。

「山暮らしがしたいと思って他県で働きながら生活をしていたんですが、そこは寒さが厳しくて、別の地域に移ることを考えました。そんな時、母親から豊田市の空き家情報バンクについて教えてもらったんです。初めは少し面倒そうな制度かなと思ったのですが、利用してみたらすごくいい制度でした。とくに地域面談があってよかったですと思います。すぐに入居ではなく、事前に地域の方とお話する機会があってよかったです。」

(めぐみさん)

—利用登録してからすぐにこの空き家が見つかったのですか？

「登録されている物件を3件ぐらい見て、この家に一目惚れしました。山深いところにあって、景色や日当たりが良いところが気に入りました。床に穴があいていたり、すぐには住める状態ではありませんでしたが、大家さんがとてもいい人で、好きなようにリフォームできたのがすごくよかったです。入居までは半年ぐらいかかったと思います。」(めぐみさん)

—リフォームには改修補助金を利用されたんですね。

どこをリフォームしたんですか？

「補助金を利用して、主に畳、床、壁の張替えをしました。主人(達彦さん)は畳職人ですが、大工もできるので、自分たちで直したところもあります。障子の張替えや土壁の補修も2人でやりましたし、台所の土かまどは主人の手作りです。今は落ち着いて暮らしていますが、まだ改修中の部屋もあります。」(めぐみさん)



写真 位田達彦さんと手作りの土かまど

(次ページへつづく)

—めぐみさんは、将来ここでカフェを開きたいと聞きました。

「人が気軽に集まれる場所、癒される場所を作りたいなと思っています。最近では疲れている人が多いので。来た人には畑で取れた野菜などを使って料理を出したいなと思っています。」(めぐみさん)

「僕の友人も町から時々遊びに来るんです。きっとみんなこういう田舎で癒されたいんだと思います。」(達彦さん)



写真 壁と床を改修した部屋と薪ストーブ

—地域の集まりには参加されていますか？

「はい。主人がお役(行事の手伝いなど地域の仕事)に出ています。毎週ではありませんが、お祭りなどがあるときには週末、手伝いに出ます。」(めぐみさん)

「最近ですと、お祭りがあったので笛と太鼓を久々にやったんです。去年のお祭りは人が少なくて寂しい感じでしたが、今年は人が結構集まりました。きっとみんな歌や踊りが好きなんですが、人が少なくなったのでできなくなってしまったんだと思います。笛と太鼓の演奏を喜んでもらえてよかったです。」(達彦さん)

—となりに住むおばあちゃんとも交流があるようですね。

「はい。毎日子どもに会いに来てくれます。子どもの世話のことや畑仕事などいろいろと教えてくれます。この家には10年ぶりに人が入ったそうですが、隣のおばあちゃんは本当の家族のように良くしてくれます。妻が里帰りしていたときは、夕飯を作ってくれました。きっと昔から助け合って生きてきた場所なんだと思います。」(達彦さん)

—地域の方とも日常的に交流があるんですか？

「はい。もう1件空き家を借りて畳工房にしているんですが、そこで五平餅を焼いて、近所の人と集まったりしています。」(めぐみさん)

「私たちは昔ながらのものや生活が好きなので、70代や80代の人と話が合うんです。」(達彦さん)

—畳工房の仕事はいかがですか？

「空き家情報バンクのつながりや地域の方の紹介で仕事が入ったりしていて、とてもありがたいです。」(達彦さん)

—空き屋情報バンクのつながりもあるんですね。

「私もここでお母さん同士のお話し会やヨガなど、同世代のお母さんたちの集まりを開いています。」(めぐみさん)

「お母さん同士のつながりができると、子ども同士のつながりもできます。できれば子どもが遊べるように、裏山に遊び場を作ってあげたいです。同世代の移住者がもっと増えるといいですね。」(達彦さん)

<取材者コメント>

空き家情報バンクが出会いのきっかけとなった位田さんご夫妻ですが、二人だけでなく、地域ともつながって今の暮らしができています。

豊田市の空き家情報バンクでは入居前に「地域面談」を実施しています。地域面談では、移住前の不安や疑問を解消できるだけでなく、地域の人と顔見知りになります。地域面談を経て空き家に入居した方々からも「地域面談が入居後の生活に役立った」と聞いております。

移住するにあたって、地域付き合いを不安に思っている人も、入居前の地域面談があれば安心です。豊田市ならではの制度ですので、是非ご活用ください。